

論文発行に関するご案内

(一社) 実践教育訓練学会 論文委員会

2025年10月17日改訂

1. 論文の基準

1.1 論文として扱う内容の範囲

- (1) 実践教育訓練技法に関する内容
- (2) 実践教育訓練に使用する教材、教具等の開発に関する内容
- (3) 実践教育訓練の方法論に関する内容
- (4) 4 専門部会それぞれの専門分野における工学的、技術的基礎とその応用に関する内容
- (5) 職業教育等に関する内容

1.2 論文の具備すべき要件

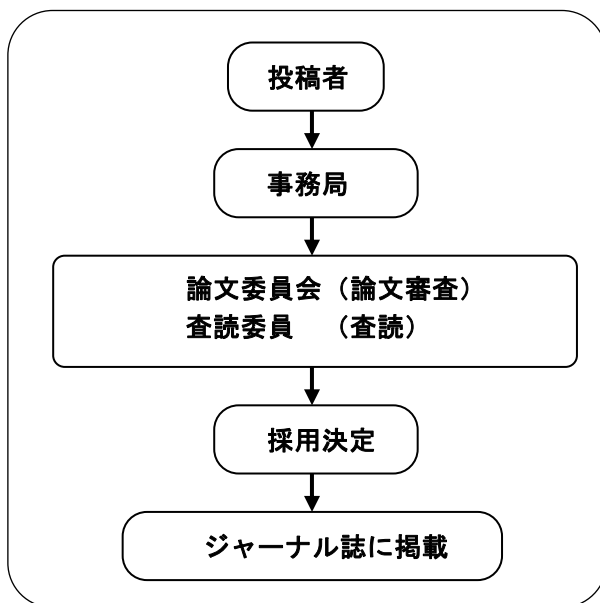
- (1) 有用性・発展性
- (2) オリジナリティ（新規性）
- (3) 完結性
- (4) 信頼性

1.3 論文審査基準

- (1) 論文の筆頭者は、会員であること。連名者は、非会員でもよい。
- (2) 論文として扱う内容の範囲に合致していること。
- (3) 投稿規定、執筆要項に掲げる要件を満たしていること。
- (4) 論文の具備すべき要件をみたしていること。

1.4 論文原稿の流れ

論文の投稿以降の流れを、以下に示す。



2. 投稿規定

- (1) 論文ならびに紙上討論の投稿は、会員に限る。
- (2) 論文は、刷り上り白黒4頁～10頁を基本とし、カラーページにする場合は、料金が追加される。
- (3) 掲載された論文に対する会員からの討論は紙上討論とし、著者の回答と共に掲載する。討論の受付は論文掲載後5ヶ月以内とし、匿名は認めない。質問及び回答はそれぞれ会誌1ページ以内とする。ただし、採否は論文委員会が決定する。
- (4) 投稿希望者は、「論文申込書」に必要事項意を記入のうえ、実践教育訓練学会に申し込む。
- (5) 論文原稿は、A4のPDFファイルに論文掲載時の体裁でまとめ、Eメールで提出する。
- (6) 原稿は随時受け付け、原稿受理日は原稿が本会に到着した日とする。
- (7) 原稿送付先
メールアドレス：jissen.ronbun@gmail.com
- (8) 論文の採否は、査読の結果により論文委員会が決定する。論文委員会は著者に内容の訂正または短縮を求められることができる。
- (9) 著者が内容の訂正または短縮を求められて2ヶ月以内に提出しないときには、原稿の受付日は無効となる。
- (10) 著者は、掲載が決定した後、A4の最終PDF原稿を作成し、事務局へ提出する。
- (11) 掲載論文の著作権は原則として学会に帰属する。ただし、著者がその一部を引用することを妨げない。
- (12) 掲載された論文の記事の内容についての責任は、すべて著者が負う。
- (13) 掲載否となった論文の返却理由に対して、著者は意見を添えて原稿を再提出することができる。ただし、同一論文に対しての反論は、原則として1回限りとする。
- (14) 著者は当該論文の掲載後、請求に応じて表1に定める掲載料を納付。

表紙1 掲載料

頁数	掲載料	超過頁 掲載料	カラーページ 掲載料
4-6頁	20,000円	10,000円 ／頁	左記の合計に 10,000円／頁 追加

3. 執筆要項

3.1 原稿の作り方

- (1) 原稿にはA4用紙を用いる。
- (2) 原稿論文は、表題・著者名・本文・参考文献・付録を含め、刷り上がり6ページを標準とする。
- (3) 原稿第1ページには、まず、表題・著者名を記入(和文と英文)し、次に英文の要約、キーワード(和文と英文)を記入する。
- (4) 本文は、2段組にする。
- (5) 各段の1行は25文字、2ページ以降の1段は50行を標準とする。
- (6) 第1ページには、左コラム下に脚注をもうける。
- (7) 図、表、写真は、本文中に割り付けて貼る。
正原稿には鮮明な図、表、写真を貼る。

3.2 文章表記上の注意

- (1) 原稿は、簡潔な表現により横書きを口語体とし、常用漢字および新かなづかいのひらがなを用いる。ただし外国語はカタカナまたは言語のままとする。
- (2) 文部省、JISなどで定められた学術用語、記号、定義などがあるときはこれに従う。
- (3) 単位は、原則として国際単位系(SI)を用いる。(JISZ8203参照)。ただし、当分の間、SI以外の単位とそれに基づく換算値を{ }で書き添えてもよい。量記号および変数はイタリック体、数学記号および単位記号はローマン体とする。
- (5) 見出しは、1.、2.、……のように番号をつけ、行の左揃えに書く。小見出しは、1.1、1.2、……として左に書く。

3.3 図表作成上の注意

- (1) 図や表にはそれぞれ図1 (Fig. 1)、表1 (Table 1)のように番号をつけて説明を書く。本文中で図、表に言及するときには、図1、図2、……、表1、表2、……とする。
- (2) 図の大きさは、会誌掲載時と同縮尺とする。
不適當なものは著者に再提出を依頼する。

- (3) 図中の文字、記号の大きさ、線の太などは縮尺に合わせて書く。文字の縮尺後の大きさは高さ2mmを標準とする。

3.5 その他

- (1) 参考・引用文献は、関係箇所の右肩に番号(1)のように記入し、本文の末尾に次のような形式で記載する。
 - ① 論文の場合
著者：論文題目、誌名、巻一、号、始ページ／終ページ(発表年)
 - ② 単行本の場合
著者：書名、ページ、発行所名(発行年)
- (2) 脚注は、本文の下に横線を引いてその下に記入する。記号はページごとに^[注1]、^[注2]のようにする。
- (3) 誌上討論は、箇条書きでよい。必要ならば詳細な説明を添付してもよい。説明は掲載しない。討論は再質問、再回答にて終結する。
- (4) 別刷り料金(税込み)は、以下の通りである。

50部：	4-6頁	20,000円
	7-8頁	30,000円
	9-10頁	40,000円
100部：	4-6頁	30,000円
	7-8頁	40,000円
	9-10頁	50,000円

カラーページ追加料金(税込み)

50部：	10,000円／頁	追加
100部：	15,000円／頁	追加